

四季を通じ手軽に自然を満喫

〔東信署〕湯の丸・高峰高原一帯は、浅間連峰の西に位置し、黒斑山(標高二、四〇四メートル)、高峰山(標高二、一〇六メートル)、東籠ノ登山(標高一、二二七メートル)、三方ヶ峰(標高二、〇四〇メートル)、湯の丸山(標高二、一〇一メートル)、烏帽子岳(標高



黒斑山から浅間山を望む

二、〇六六メートル)等比較的穏やかな峰々が連なっています。

また、湯の丸、高峰高原の中間には、数万年前の三方ヶ峰火山の噴火により形成された火山原に広がる高層湿原である池ノ平湿原があり、さまざまな地形と、亜高山帯の気候と合わさり、花々の種類が豊富な高原地域として知られています。

五月には一帯でカラマツの新緑が始まるとともに、ガンコウラン、シヨウジョウバカマ、ツバメオモト等が咲きはじめます。

六月には高原一帯を国の天然記念物にも指定されているレンゲツツジの朱色が山肌を染め、ハクサンシヤクナゲなどとともに、高山植物の女王といわれるコマクサ、ツマトリソウなどの高山植物が咲



高原に咲くレンゲツツジ



アヤメの大群落

き始めます。

七月は、池ノ平湿原等の湿原地帯にアヤメの大群落が見られます。

八月から九月にはヤナギラン、マツムシソウ、リンドウなどの草花が咲きはじまります。

その後十月までは黄金色に輝くカラマツ、赤、黄色等広葉樹の紅葉も見ごたえがあります。

この地域は、駐車場等からのアクセスが比較的短く手軽にハイキング、登山とともに、春から秋にかけて、これらの花々等を楽しめることから、多くの方々が訪れています。

また冬場においても、スキー場等の施設のほか、晴天率も高く澄んだ空気の中、手軽にスノーシュー等により、眼下の千曲川の流れを見渡し、北アルプスの大パノラマ、北には上信越の四阿山、草

津・白根山、谷川岳、南には奥秩父・甲武信岳、八ヶ岳、遠くは富士山など三百六十度のパノラマを楽しむことができます。

四季を通じ、手軽に自然を満喫ができる湯の丸・高峰高原付近を散策してみたいかがでしょうか。



高峰山からの眺望

◆アクセス方法  
 ○マイカー

上信越自動車道小諸インターから高峰高原(車坂峠)まで三〇分程度、同じく東部湯の丸インターから湯の丸高原(地藏峠)まで三〇分程度

※池ノ平湿原までは、七月中旬から八月中旬までの土・日・祝日は湯の丸高原(地藏峠駐車場)、高峰高原(浅間2000パーク駐車場)それぞれからシャトルバスでの対応となります。